



【自主 敬愛 勇健】 ～生徒が自信をもって生き生きと活動する学校～

<令和6年度の教育課程が修了> ～全校生徒の皆さんの成長をうれしく思います～

3月18日（火）に、令和6年度の丸子北中学校3学期終業式を行いました。式の中で、各学年の代表生徒が次年度に向けた目標と決意を発表してくれましたが、姿勢や話し方、内容が素晴らしく、とても感心しました。きっと、代表生徒が誰であっても、このような姿を見ることができたことなのでしょう。代表生徒の姿は、北中生全員の1年間の成長ぶりを表していたと思います。気温が低く、寒さを感じる体育館でしたが、全員が場にふさわしい態度で式に臨めたことにも大きな成長を感じました。

私は、校長講話の中で、「前よりもできるようになったこと」や「新しくできるようになったこと」を思い浮かべるように生徒に伝え、自分自身が成長したことを振り返ってもらいました。生徒の真剣に考える様子や全員に成長した点があることを確認できたことから、全校生徒の進級と卒業の認定を伝えました。また、本校の生活のキーワードである「思考・感謝・笑顔」に触れて話をし、学校生活だけでなく、家庭生活でも、社会人となって働き始めてからも出てからも意識してほしいと伝えました。

春休み明け、4月の始業式に、新たな目標を持ち、目を輝かせて登校してくる生徒の姿を楽しみにしています。



<令和6年度卒業証書授与式> ～職員一同、卒業生の新たな門出を心から祝福します～

3月19日（水）に、令和6年度丸子北中学校卒業証書授与式を挙行了しました。3年生全員が卒業証書と3年間の思い出を胸に、立派な姿で、本校を巣立っていきました。

卒業式は、担当学年でなくても、感動するものです。卒業生の凛々しく堂々とした姿に、確かな成長を感じ、涙をこらえながら卒業証書を手渡しました。私は生来涙もろいので、過去に、涙が止まらなくなり、卒業生の呼名で声が出なくなってしまうたり、式辞を途中で詰まらせてしまったりという苦い経験がありました。先週の3年生を送る会では感動の涙を流してしまいましたが、卒業式では見苦しい姿を見せまいことなく、無事に終了することができて安心しています。卒業生全員の旅立ちを心から祝福し、新たな生活の場で活躍してくれることをお祈りしています。ご卒業、おめでとうございます。

さて、卒業生とお別れするのは淋しいですが、転出する職員ともお別れしなければなりません。下記に今年度末をもって転出する職員を紹介します。保護者や地域の皆様には、今年1年間、生徒も職員も大変お世話になり、また、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。

<転出職員の紹介> 今年度末、下記の職員が転出します

お世話になった年月の長短はありますが、生徒や保護者の皆様、地域の皆様に支えられて、素敵な時間を過ごすことができましたことに感謝申し上げます。

大変お世話になりました。ありがとうございました。今後とも丸子北中学校をよろしく願っています。